

カール・ロジャースの思想でヴァイオレットのキャラクターの自己概念 と一致を研究

序論

本と言う物は、社会にとって窓のように別の世界を見る一つの方法である。ライトノベル（ラノベ）はその別の人生の物語を語りかけて、新たな世界を紹介している。そして、有名なラノベ、ヴァイオレット・エヴァーガーデンと言う語りがあり、それは自動手記人形、ヴァイオレット・エヴァーガーデンと呼ばれる少女の物語である。

元軍人で、少女兵ヴァイオレットは今まで、自分が『道具』または『武器』と呼ばれるものに生きていて、信じている。そのため、彼女は自分の心、本心を振っていることともに自分が人間そのものの事を振っている。これはカール・ロジャースの思想によると、ヴァイオレットの心の中に、不一致が始まる（McGraw-Hill,1959：203）。そして、ロジャースの思想で、ヴァイオレットのキャラクターを研究し、あるいは彼女の不一致が一致になれるかどうかを調べる。

本論

ロジャースの思想の自己概念の中には三つの重要なポイントがあり、それは、現実自己や理想自己や自尊心である。どのように人が自分の事、体と心を見るのかそれは現実自己、その逆に理想自己というのは個人が非常にそうなりたいと望んでおり、それに最も高い価値を置いている自己概念である。そして、自尊心は自分の人格を大切にす気持ち、または、自分の思想に自信を持ち事である。

人殺しヴァイオレットは、ギルベルトの武器になり、4年に軍人になった。そして、その4年間の中に彼女は愛情をもらうことがあまりなか

った、たとえそれは人間として必要な肯定的配慮であるもの（Rogers, 2005）。そのせいで、ヴァイオレットは人としての感情が理解できなく、自分の気持ちを表すこともできない。

そこで、ただ条件つき積極的な関心をもたらした彼女は、自分の意識で自分の最も高い価値は『武器』であるものと思ってしまった。『武器』でないと、ギルベルトの傍に居たいと思う資格も、失ってしまった、ということは次のデータに書いてある。

「私は人ではないです。道具でないと、駄目なのです。道具でないと……うまく戦えません。少佐の傍に居たいと思う資格も、失ってしまう。少佐の傍に居たいと思うには、誰かの道具にいるには、そういうのは……阻害されなくてははいけないんです。」

(暁加奈, 2016: 213)

自分が人間ではない、人間として価値はないと思っていた。ギルベルトが命令をしないとヴァイオレットは動くことができないと信じていた。そして何も気づいていない間に、ただギルベルトから愛されたい彼女は、武器と呼ばれるものに生きて、自分の本心と人としての価値を知らなくて、命令を従え、それはヴァイオレットの理想自己である。この問題は、ヴァイオレットの心の中に不一致になっていた。ただ人に対して成長できなくて、十分機能するひともできなかった。

しかし、自動手記人形になったヴァイオレットは、たくさんの人と出合って、たくさん知らない想いを感じて、彼女の心が動いていた。少しずつ人としての感情を学んで、そして本人がそのものを感じられる。これは次のデータに書いてある。

「きっとそれは『楽しい』という気持ちで、私はそれを下さった旦那様に感謝しております」

(暁加奈, 2015: 183)

色々な知らない感情を感じるが、ヴィオレットにとって、愛を感じるなら完璧な武器になって事ができないと思ってから、ヴァイオレットは愛情を分かることができないと言ってしまふ。

そして、死ぬことが近づいた時、ヴァイオレットは自分に言った、一生懸命生きていて彼女は、まだギルベルトに愛されたかったか。ついに自分の眠っている感情を感じられているヴァイオレットからである。

大戦争が終わった時から、ついにギルベルトと出合ったヴァイオレットは、その時より、もっと感情を分かって、表すことも少しずつできる。それから、ついに彼女はギルベルトに自分の本当の気持ちを話した。彼女は、命令を受けられなくても、ただギルベルトの傍に居られたいんだ。涙が流れているヴァイオレットは自分の本心を、ギルベルトに、話した。まだいっぱい事が分からないが、武器でなくても、これからヴァイオレットは自分の気持ちを受け入れるつもりである。あとは、ヴァイオレットの不一致はついに一致になり、その流される涙は彼女の感情の証拠である。彼女は最終的に本当に全部彼女の気持ちを感じられる。

結論

本研究では、研究データにより重要なポイントは：

ヴィオレットの現実自己

ヴィオレットの回りから、ただ条件つき積極的関心を受けるしかなかった

不一致が出てしまった。

自動手記人形になったおかげで、ヴァイオレットは人として感情を分かることになった。

少しずつ自分の気持ちを受けた。

ついに不一致が一致になった、ヴァイオレットは自分が人間として
生きることができるようになった。



DAFTAR ISI

HALAMAN PENGESAHAN	i
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS	ii
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI	iii
KATA PENGANTAR	iv
DAFTAR ISI	vi
BAB I PENDAHULUAN	1
1.1. Latar Belakang Penelitian	1
1.2. Pembatasan Masalah	4
1.3. Tujuan Penelitian	5
1.4. Metode dan Pendekatan	5
1.5. Organisasi Penulisan	7
BAB II TEORI KEPERIBADIAN	8
2.1. <i>Self-Concept</i> (Konsep Diri).....	8
2.1.1. <i>Real-Self</i>	9
2.1.2. <i>Ideal-Self</i>	10
2.1.3. <i>Self-Esteem</i>	10
2.2. <i>Positive Regard</i> (Penghargaan Positif).....	11
2.2.1. <i>Unconditional Positive Regard</i>	12
2.2.2. <i>Conditional Positive Regard</i>	12
2.3. <i>Congruence</i> dan <i>Incongruence</i>	13
2.3.1. <i>Incongruence</i>	13
2.3.2. <i>Congruence</i>	15
2.4. <i>Actualizing Tendency</i> dan <i>Self-Actualization</i>	16
2.5. Fully Functioning Person	18
2.6. Maladjusted Person	22
2.7. Becoming a Person	23
BAB III TEORI KEPERIBADIAN DARI KARAKTER VIOLET	25
3.1. <i>Real-Self</i> atau <i>Self-Image</i> Karakter Violet	26
3.1.1. Gadis yang masih mempelajari dunia secara meluas	30
3.1.2. Gadis yang sulit mengerti dan mengekspresikan perasaannya	32
3.1.3. Ketidaktertarikannya dengan penampilannya sendiri	38

3.1.4. Violet adalah anak yang penurut	40
3.1.5. Gadis yang ingin menolong orang lain	42
3.1.6. Gadis yang hanya ingin dicintai	45
3.2. <i>Ideal-self</i> dari karakter Violet	47
3.3. <i>Self-Worth</i> yang dimiliki Violet	47
3.4. <i>Congruence</i> dan <i>Incongruence</i> dari karakter Violet.....	49
3.4.1. <i>Incongruence</i> dari karakter Violet.....	49
3.4.1.1. Memandang dirinya sendiri sebagai senjata milik Gilbert	50
3.4.1.2. Violet yang menolak perasaan cinta yang dirasakannya.....	52
3.4.1.3. Penolakan Violet terhadap nilainya sebagai manusia	54
3.4.2. <i>Congruence</i> dari karakter Violet	58
3.4.2.1. Menerima perasaan yang ia rasakan bersama Leon	60
3.4.2.2. Melihat kesamaan pengalaman yang dilalui dengan Lux.....	62
3.4.2.3. Dengan kesadarannya, dia memilih keputusannya sendiri.....	65
3.4.2.4. Menerima dirinya apa adanya.....	67
BAB IV KESIMPULAN	73
DAFTAR PUSTAKA	viii
SIPNOSIS	x
RIWAYAT HIDUP PENULIS	xiv